

原発いっせん!

山ロネットワーク

2025年3月9日の報告

田布施町反対決議
記念号

オ439号

代表者 小 中 進
〒745-1313 山口県 熊毛郡
田布施町 麻郷 2208
Tel.FAX 0820-55-6291
振込口座 (年会費2000円)
(郵) 01590-5-27469
口座名「原発いっせん!山ロネットワーク」
作制・印刷・発送
周防漢語の自然を守る会
三浦 翠とメンバーズ

次の集り

2025年4月13日(日) 13:30

周南市役所

シビック交流室 6

3月21日・田布施町議会。



建設反対決議案を可決

中間貯蔵施設
3/22 5日 田布施町議会 周辺自治体で初



中間貯蔵施設建設計画に反対する決議案の提出理由を説明する小中議員(中央)

中国電力などが上関町で計画する原発の使用済み核燃料の中間貯蔵施設の建設を巡り、

周辺自治体の田布施町で計画する原発の使用済み核燃料の中間貯蔵施設の建設を巡り、

の反対決議案が周辺自治体の議会でも可決されたのは初めて。

本会議に決議案を提出した小中議員は理由説明で、使用済み核燃料を再処理して活用する核燃料サイクルを取り上げ、再処理工場(青森県)の稼働が見通せず「永久貯蔵施設になる強い懸念を抱く」とし「移住希望者が、建設計画を聞き移住を要める事態になっている」などと計画段階での悪影響も訴えた。

その後の討論では、決議案に賛成する内山議員が「安全安心の面や核燃料サイクルへの懸念もあり、あるよりはない方がいいが、事業者や国に説明

を求めた上で総合的に判断すべきだ」と主張。

高月義夫議員も「立地可能性調査の段階で反対すべきでない」となると同調した。建設反対を表明すべきだという立場の藤田枝里香議員は「計画が進んでから反対しても遅い」、高見英夫議員は「町の最優先課題は少子化であり、そこにマイナスな施設だ」と訴えた。採決の結果、賛成6、反対5の賛成多数で可決された。

また、「中間貯蔵施設の設置について事業者および国からの説明を求める決議案」も賛成多数で可決された。

建設反対決議案の可決を受け、東浩二町長は「議会の意思を大事にして、(柳井、平生、周防大島、田布施の)周辺自治体・市3町で対応したい」と語った。

【福原英信】

田布施町の皆さん
ありがとう!
小中さんあはれ!

みんなが心をのぞいて見つけた
田布施町議会。
ついに「中間貯蔵施設反対
決議案が可決した」。

3-22のこ.→P④
P⑧

東日本大震災の発生した時間に被災地の方向を向いて黙祷する参加者＝上関町室津



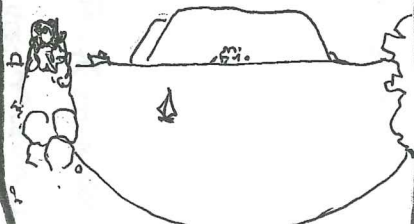
①

この署名の締め切りは4月30日です。5月中旬へ届けます。

中国電力(株)社長 中川賢剛様

上関中間貯蔵計画の撤回を!
環境影響評価なしに適地判断を行わないよう求める署名

田の浦ピクニック
&
ビーテクリーン
次の予定は未定です。



3月20日のみずは次号に。

■例会の報告(3月9日)

・参加地域 田布施、下松、周南、宇部

① 小中代表より

今月10日から田布施町の初議会です。議員になってみると、いろんな情報が入ってくるようになって、その点はよかったと思います。

中間財政についてはどう取組めばいいのか話合いもできています。

町議会で中間財政に反対の決議をする事になりました。反対の議員6名全員で署名して議会に提出しました。3月21日に決議です。

選挙の結果、新聞で、どの議員が推進か反対かがはっきりしてしまっただけ、推進の議員も一言い訳のため、中電と国に対して説明を求める決議をすることに。現職議員の一人は、中間財政反対だが、説明も必要として、両方の決議に加わる事になりました。

各地で市民派の議員を作りたいかないと、なかなか世の中は変りない。

皆さんの自治体でも動きを出して下さい。3月22日には、東部からバス3台と、山口からもマイクロバス一台と合計4台で行くことになりました。

この「原発いらん」山口ネットワークも今年に一度は総会をやって話し合おうと決めていたりと思ういます。

今は一番重要な時なので、中間財政を止めるためには地域を動かさないといけない。

新しく市民の方を向いた議員を多く出すような働きかけをしていけば、政治は変わっていくと思います。

② 3・11、上関町中電事務所前で、

「福島を忘れない。黙黙祈集会」をします。2時集合。司会は平生町議の原真紀さんです。

③ 宇部市市民の会では3月8日に総会を

しました。小中さんが来てくれて、その報告を聞いて、みんな喜びました。元気が出ました。

3月6日には、私・浜野が美祿市のお母で中間財政は危いものだという話をしました。

②

私が小中さんの町議選の応援に行っていたので、その話をしました。

小中さんの田布施の戦いが非常にばげましになって、自分達も何かやらないと...となりました。

④ 周南市では「中間財政を考えるよう周南の会

で、1月の市長への要望に続いて「中間財政計画の中止を求める決議の採択をするよう求める陳情をしました。

議会事務局の話だと周南市民がする場合、陳情も請願も同じ扱いにするということだったので、企画総務委員会では話もさせてもらえず、そのまゝ廃案にされそうになりました。

一度廃案になると、二度とこの問題は議会ではとり上げないことになるそうなので、必死陳情を取り下げました。

周南市議は29人。

⑤ 下松市では、市会議員全員に末田さんのパンフと樋口さんのパンフを配ろうと今準備中です。

⑥ 原発をめぐる裁判

2月21日 川内原発差止訴訟の審理
 3月5日 伊方原発差止訴訟の審理、広島地裁
 3月6日 東電旧経営陣刑事裁判無罪に
 納得いかない判決が続く...
 南海トラフ地震は明日かも知れないと、防災
 防災と連日のように言っているのに、伊方原
 発を動かさず続けるのか...

最高裁の裁判官は、退官したら東電に天下り
 だとか言っている...もうメケマケクマだ！

3・11後の福島で電通は何をしたのか
 福島県三春町で野池元基さん講演会

武藤類子

2月24日に福島県三春町で開かれた電通による世論操作研究会の野池元基さんの講演会には、寒い中、遠方から近隣から約80人が参加し、3時間半に及ぶ講演を、みな熱心に聞き入った。福島原発事故後、「食べて応援」「風評払拭」などのキャンペーンが盛んに行われている。一見、各地で自発的に行われているように見えるが、実は経産省、環境省などの省庁や福島県が広告

代理店に委託して企画していたことなどが、野池さんの膨大な情報開示請求によって明らかになってきた。
 例えば人気の野球選手に小学校の校庭で子どもたちとキヤッチボールをさせ、それをメディアに取材させ報道させる企画、人気グループTOKIOに福島の野菜や米などを食べさせ、ポスターを作ったり、テレビで放送させる企画などだ。彼らの善意によって

はんげんはの新聞 2025.3月号より

汚染水を処理水と呼ぶようマスコミに
 圧力をかけたのも電通だ(うM)

行われているように報道されるが、開示されたこれらの企画書や報告書などを見ると、発注者が意図をもった企画し、何を浸透させようとしているかが分かってくる。新聞記事も広告料に換算して評価される。新聞やテレビの報道が広告化されているのだ。そして次は、SNSのインフルエンサーを使った手法に移行してきている。
 原発事故前から原発の宣伝を一手に引き受けてきた電通が、その実績によって国策プロパガンダを請け負い、また莫大な利益を得ていたという構造がよく理解できた。私たちの故郷はいまも傷つけられている。今回、私たちは主催団体名を「だまされたくない人々」とした。そんな人々が一人でも増えていくことを願う。

裁判のこと。

● 祝島島民の会の裁判(14回)
 山田支部
 2025年4月10日(木) 10:30
 ● 上関原発用地埋立免許延長憲法裁判
 控訴審才一回・広島高裁
 2025年4月18日(金) 11:00
 ● 伊方原発運転差止の裁判(30回)
 山口支部
 2025年4月25日(木) 14:00
 結審

中傍聴に来て下さる傍聴者の人数は
 裁判にとって、大きな力になります。

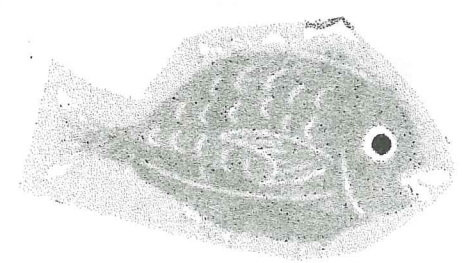
会計報告

2025年3月の会計報告 - 原発いらい山口ネットワーク

25年1月の報告の残高		152,076
収入	年会費とカンパ	188,500
支出	1月の報告作製、印刷、送料	43,608
	2月の "	33,609
	1月例会会場費	1,400
	2月 "	1,400
	3月 "	1,790
	3・22山口大集会団体賛同金	3000
	振込通知料	2750
	振込用紙印字サービス	1120
	10月代赤字補填	19500
	印字代	1160
		109337
差引残高		231,239

0年会費とカンパの振込もありました。

0年会費は200円です。
 0159015127469、原発いらい山口ネットワーク
 会計三浦 翠



3・22 上岡原発を建てさせない・核のゴミは
いらぬ山口大集会のこと。

○9時30分、宇部太鼓の目の覚めるような
元気な音で始った。

続いて上田達生さんの「風の座」の歌と演奏。

「祝島讃歌」「この海を残してふとやれるにうつか
へん」さんほーい(笠木透・作詞・作曲)女性ボーカルの
海の歌。

○10時前、田さんと藤さんの司会で集会に。

「福島は今も原子力非常事態に」宣言のし
とにあり、多くの人が苦しんでいる中で、政府が原発
帰還に舵を切ったことへの強い抗議の集会にしま
しょう」と上岡田さん。

○続いて2024年9月に亡くなった、祝島島民の会代表で、
この集会の共同代表でもあった清水敏保さんに、全
員で一分間の黙持。

○祝島島民の会 新代表の木村力さんより
「祝島は愛郷一心会の時代から、43年間、べ
ばつています。

清水敏保さんが願った白紙撤回にはなっていないが、
原発は建てません。彼のことを思い、今も涙が
出ます。本当によく頑張ってくれました。

政府は、原子力エネルギー基本計画で原発回帰
に舵を切りました。しかしその中でも、新規原発は
建てないと言っている。それなのに、中電は上岡原
原発を建てると言い、山口県も埋立免許を取り下げ
ない。

それどころか、中電は海のボーリング調査を妨害
したと、祝島を訴えている。

4月10日の岩〇地裁での裁判に、是非傍聴に
来て下さい。

田布施町では私たちの追い風が吹いていま
す。

これから祝島は、ますます中電の目の上のたん
こぶとして頑張ります。

みなさんのおかげで、こういう集会が開かれる

ことに感謝しています。

○内田新吾 共同代表のあいさつ。

去年20日間、宇部の病院に入院しました。
病院の窓から見える大きな島が、美しい朝日
が昇りました。その島が祝島でした。

宇部からは遠いと思えた祝島が、正面に見え
ました。上岡原発は近いと実感しました。

エネルギー基本法は変りました。しかし変ったの
は政府だけ。今日は、私たちの原発反対の気持は
変っていないことを示す会です。

○青木美希さんの話。

お話のこまかい内容については、前日の夜の会
でうったレジュメにまとめているので、それを経
介します。↓p8

・今回青木さんの話を聞いて強く感じたのは、
本当のことを知って欲しいという強い思いでし
た。

福島原発の状況についても、明るくニュースだけが流
れる。くらしを破壊された人々の苦しみや放
射線量のことばは、マスコミが全く報じない。
記者が書いてもすべてデスうに削られる。
抗議すると、青木さんのように左遷される。

原発をすづめているのは政府。原発をつれば
金が入るといって、電源三法交付金制度。
原発1基で1日1億円もの収入と云われる。
だからやめない。

原発をやめて、自然エネルギーにすればするほ
どもうかるシステムにすればよい。

イタリヤは国民投票で交付金をやめた。

電力業界は政治家へ巨額の献金をする。
新聞も部費が減り、経営が苦しい中、大口の
広告主である電力会社、NHKの言うこと
をきく情況。

この金と力の三角形(レジュメ参照)をつぶさ
るのは市民運動しかない。

ご自身も朝日新聞の記者であったのに

今は、社員ではあっても記者取をばすべしとされている。休日や休暇を取って講演や取材をされているというしんじい。立場にありながらなんとかこの状況を打ち破りたいと活動しておられることが強く感じられました。

「チューブ」あおタイムズ」で動画を配信しているのを見て是非見て欲しいとのことでした。チャンネル登録数が増えたと、あそこらで取り上げられるようになるそうぞう。



青木美希さん

○千葉 親子さんの話（甲状腺支援グループ

あじさいの会共同代表、福島県会津在住）

「原発事故は日常生活を居る去りにしたまま逃げなければならぬ。しかもその土地がもとの線量に戻るには10年、数万年かかる。」

一般人のヒバク基準は年間1ミリシーベルト（以下）のに、福島は今も20ミリシーベルトに据えおかれたまゝ。

原発銀座の福島県から月船をとばしたら80km離れた会津に2時間と到着。各原発を中心に円を描けば日本列島に安全なところは無い。

事故後福島では甲状腺癌が多発。国際機関は放射線と病気の因果関係を認めない。普通10万人に1人とされる甲状腺癌が397人。その発生率は50〜30倍。国も県も県大も原発事故による癌発生を認めない。

私たちは甲状腺がんの人を助ける「ひまわり」の会をやっている。甲状腺がんになった若者は学業や仕事をやめて治療する。せつかくの夢をあきらめないように、カンパを集めて再チャレンジをすすめている。

「今回はずきまできてうれしい」このメールに涙。

つながらることの大切さを実感する。

あつてはならないことだが、次に事故が起った時のために安定ヨウ素剤の配布をすすめている。

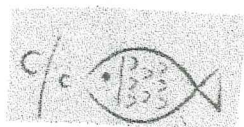
今、ワカサメオの若者の裁判が行われている。ヒバクと甲状腺癌の関係がみとめられるか注目が集まっている。

今、福島では放射線量のことばかりして、補助金を付けて帰還者を募っている。

今も、チェルノブイリには多くの核物質がある危険なのに。

核のゴミ、汚染土など問題だらけ。政府のやっていることはネチネチにも無意味。

みなさん「原発のはい木をこつくるよう手をつないでいきましょー。」



● 現地からの声

○清水康博さん（祝島島民の会事務局長）の話

昨年9月に父が他界、父の遺志を守りつていく。

今2年1月から島内デモを再開しました。上関町内にも中間貯蔵反対の意思があることを示したいと思った。

数ヶ月後には中電の調査の結果がでるだろう。町長は適地と判断さればするめる気だ。

しかし町がやったことは東海村への視察のみ。

町全体への説明は何も行われていない。

町民が反対の町議が6名当選した。これが民意だと思おう。

上関町は財源だけを問題にする。同じような自治体は多いのに、上関町だけが「金」だけを問題にする。

「原発のない町づくりをしっかりとやりたい。」

(清水さんの話のつづき)

木村代表はもう80歳になるのにアボガドを育てている。それには負けられないようにがんばって、この海をこの美しい自然を残して行こうという思いは強い。

祝島は、4月から児童が5人になる。未就学児は7人もいる。この子供たちのためにも、自然をこのまま残して行きたい。

○高島美登里さん(上岡の自然を守る会共同代表)の話

カンムリウミスズメは世界に500くらい羽しかいない貴重な鳥。上岡の海では年間を通じて見れる。子供でも知っている。

年に40回ほど調査をしている。今年1月には最多の40羽見ることができた。

この海域は、75%が自然海岸で、今ではこんな場所はない。

「奇蹟の海」と呼ばれるこの海に今危機がせまれている。

中岡は4月、11月にボーリング調査をした。適地だとすれば次の段階に進むだろう。

予定地は急峻な山地。110トンのギヤスクを運ぶためには、15度傾斜の道が必要。山は大きく削られる。500トンの船が入るためには埋立が必要になる。

2月20日の申し入れで町長に現地を見たのかと聞いたところ「行ったことはない」と。

町長がこの件でやったことは、東海村に行って30分間ギヤスクに触っただけ。首長として許せない。

中間貯蔵施設には上岡島の原爆の6万8千発の放射性物質を運ぶのに環境アセスがないのは許せない。

是非署名にご協力下さい。

吉井林島の「あつ」では事業者が自主的に環境アセスをやりました。

西町長は交付金が必要と言うが、これまでも年間、76億円もの交付金を受取りながら人口減少、高齢化率は中国地方一。これ以上お金を入れても同じこと。

自然観察会には多くの子どもたちが来ます。山崎口から来た小学生は上岡の生き物に興味を持って、将来は海洋生物研究者になりたいと言っている。

こういう子どもたちの夢を奪うはいけません。

地元の漁師さんと寒ボラ祭りをやりました。並行通は売りものにならないと言われるボラも上岡のきれいな海で育った貴重な時期のものはおいしいのです。

「おまかせ定配」と言って、その時とれた魚をつめて運ぶことを月に3回やります。

(6)

● 県民の声

○柳井市平郡島の井上重スさんの話

平郡島は人口200人程度の島です。

島からは伊方原発が見えます。

2023年に中間貯蔵の計画の発表があった時は平郡島自治会として県と柳井市に反対の要望書を出した。

その後大島、柳井、祝島などでガク所村「フゾデー」の上映会をしました。

昨年は柳井市全域の380自治会のうち、

(井上さんの話のつづき)

160自治会で回覧アンケートをやった。

4000世帯のうち、中間貯蔵に反対が92%、よくわからないが20%。

お願いするのは、東電や中電ではなく、山口県や山口県議会がいっ。

署名よりアンケートの方が賛成と反対の比率がはっきり出るのじゃないかと思う。

これまで、田布施や大島でもシール投票をやった。どちらでも反対8、よくわからない2、賛成する人はごくわずか。

○小中進さん(田布施町議)の話

地域の安全、安心を築くのが政治家のやるべきこと。

田布施町では、住民が中間貯蔵反対の署名を集めて議会に請願を出したのに、議会はこれを廃案にしようとした。

県議会議員や自民党の顔色をうかがうからです。

田布施町は、かつて岸、佐々木という2人の首相を出し、現在も自民党の国会議員が2人、岸信千世氏と北村経夫氏がいるところですよ。

この田布施で、12名のうち6名の反対の町議が上位当選しました。

みなさん地域の政治家を変えましょう。首相を8人も出している山口県から日本を

変えましょう。

昨日、田布施町では中間貯蔵反対の決議を——しました。

○安溪遊地さん(日本生態学界、山口県立大名誉教授)の話

阿東町でお米をつくっています。昨年は暑さに強い「虹のきりめき」という品種を植えたのでよくできました。今、外のテントで売っています。

日本生態学界で、中電や県中電に貴重な生物がたぐえんいるこの海を守るようにという要望書を出しました。

中電が上関原発のために出した環境影響評価書は、島根県に出したもののほとんどコピーだったんですよ。本当にいつ加減な会社です。

この海はすごい海です。それはこの「不可踏の海」という本になさいます。

これも外のテントで売っていますので是非見て下さい。

●県外参加団体の紹介

まだデータが揃っていないので次で紹介します。

●連中甲のあいさつ

平岡秀夫さん。原発をやめるためには政治家の力が必要、政治の力をつけるには皆さんの力が必要。連中の政策勉強会に呼ばれた。彼らは本気にならず原発をすつのようにしている。脱原発に友達をひきこんで下さい。

●集会宣言案を田布施町の

山本裕美さんが読みました。

「なぜ日本は

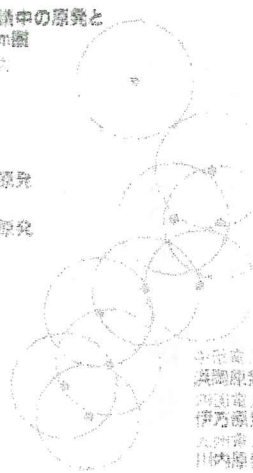
原発を止められないのか？」

青木美希 20250321

札幌市生まれ。新聞社3社で23年間記者を務めた。『北海道警察裏金問題』取材班で菊池寛賞、新聞協会賞を受け、『プロメテウスの罠』『手抜き除染』の取材班でそれぞれ新聞協会賞を受けた。日本ペンクラブ言論表現副委員長。近著『なぜ日本は原発を止(や)められないのか?』(文春新書)は2025年2月に6刷となり、脱原発文学大賞、貧困ジャーナリズム賞を受賞した。

審査を申請中の原発と
半径250km圏

北海道電力
福島第一
東北電力
女川原発
白川原発
東海第二原発
東海電力
柏崎刈羽原発
関西電力
大飯原発
高浜原発
中川電力
黒根原発
九州電力
玄海原発



現状

●いまま福島第一原発から300km離れた富士山でも野生キノコからセシウム検出、出荷制限中。

●福島第一原発事故の最悪シナリオではウラン燃料2炉心分が溶けた場合で250km圏内が任意避難区域だった(右上の図は2014年5月22日朝日新聞)。

●英フィナンシャルタイムズは「ロシアの攻撃目標のリストを入手した」と報道(右)。首都圏唯一の商用原発、東海第二原発が攻撃目標に。

●マグニチュード6以上の地震の2割が日本近郊。

●政府はエネルギー基本計画で「原発依存度低減」「再エネに最優先に取り組む」を削除し、原発新設に取り組むとした。

●日本政府は原子力緊急事態宣言を発令中で、東日本大震災の避難者はいまも数万人。住宅提供打ち切りで生活は厳しく、帰還困難区域も打ち切り。医療費打ち切りも



なぜ日本は原発を止められないのか

●なぜ日本は原発をやめられないのか。推進する人たちで作る「原子カムラ」。政官業学メディア。既得権益を守る。

原発推進の政治家は電力会社にパーティー券を買ってもらっている。リストの存在。電力会社役員が個人献金。

●内藤千百里元副社長(当時91)が、少なくとも1972年から18年間、在任中の歴代首相7人に「盆暮れに1000万円ずつ献金してきた」「自民



党有力者らに毎年2回、盆暮れのあいさつと称して各200万~1000万円の現金を運ぶ慣行があった」と朝日新聞に証言した。 (「なぜ日本は原発を止められないのか?」)

●「核兵器と原発」 原子力専門家「核には核で、が常識」

●「また第二第三の事故が起こる国になっていると感じる。この国は3・11をまたやろうとしている。それは自覚しましょう。沈黙することで現状はちっともよくなりません。沈黙することが現状を追認することであり、格差が格差を加速する結果を生みます。そこを転換するには発言する」(保坂展人・世田谷区長)。

●高い原発、私たちの電力料金で新設も、捨てられる再エネ

原発の新増設、コストがあがって米国では小型原発6基が撤退。日本は「電気代をあげて回収するから大丈夫です。心配していません」(電力会社社員)。日経、朝日も新設コストは電気代で回収する方針と報道した。福島第一原発事故を受けて原発建設費は数倍に

・ドイツは原発ゼロ達成。日本は連系線が貧弱で、九州で電力が余っても本州に送れない。2023年4~9月には北海道電力と東京電力を除く8社が194回の出力制御を行い、最大で1回当たり原発3基分に相当する約287万キロワットを抑制した(2023年10月16日「共同通信」)。再エネが無駄に。7兆円あれば連系線を整備でき(エネルギー資料)。将来的に電気代を安くできるのに、政府は電気、ガス会社に4兆円を補助。「再エネにまわせたはずの政府の財政支出が電気、ガス代に累計4兆円投じられることになる」(2024年7月31日日経)。

・「再エネを本気でやろうとしているように見えない。原発のように何兆円もつぎ込んでいない」(元原子力学会会長)

・乏しい再エネ促進策。蓄電池補助政策は米国は実施、EUは太陽光パネル廃棄を2012年に義務化。日本は遅い...

●原発新設は国民負担増。なのにあまり知られていない。

ネットにあふれる「原発で電気料金が安くなる」という言説。ユーチューバーも。

●福島第一原発デブリの取り出し費用16兆円(原子力資料情報室)の負担はこれから。

●各原発の核燃料は無害化まで10万年。処理費用もこれから

どれだけ国民負担が増えるか。

青木美希 『なぜ日本は原発を止められないのか?』脱原発文学賞受賞。『地図から消される街』(講談社)は日本医学ジャーナリスト協会賞特別賞など3賞、『いないことにされる私たち』(朝日新聞出版)は全国学校図書館協議会選定図書 YouTube「あおタイムス」で動画配信中。チャンネル登録をお願いします。鶴沼さんの映像や福島第一原発の現地取材映像も。

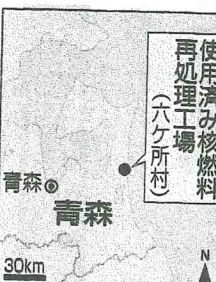
あおタイムスは検索のほか、このQRコードでも



觀光團へ、世界の賓客、阿波も敬声。

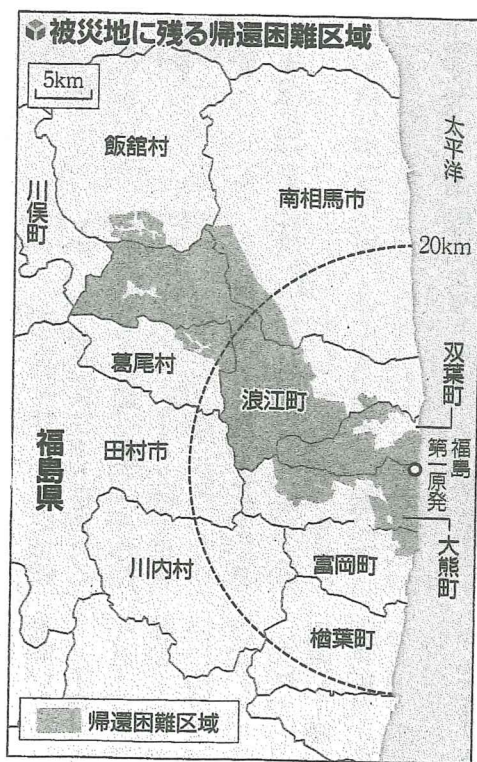
- (2/27) 除染土再利用基準案「妥当」。ロシウム濃度1Kg 当り、8000ベクレル以下とする環境省の基準案を「妥当」と答申・国の放射線審議会。
- (3/28) 東電柏崎7号機計画変更届け出、テロ対策施設完成延期。
- (2/28日) 4月の電気代 294541円上昇。
- (2/28日) 曲がる太陽電池、風車タワに設置・白電
- (3/1) よ、(広告) 瀬戸内海の美を船旅で。世界に誇れる



- (3) (中) ④ 青森県六ヶ所村・一変した村、豊か
求の土地に協力、始まらぬ再処理、苦悩も。
(3) (目) 除染土処分 適地調査
へ。環境省、来年度から(要件
見定の。再利甲で減量狙う。
(3) (目) 柏崎刈羽6号機、国
の審査合格。
- 
- 使用済み核燃料
再処理工場
(六ヶ所村)
- 青森
- 30km
- N ▲



- 9



- (3/7 中) 東京旧経警陣無罪確定へ。
福島第一原発事故で強制起訴、最高裁「意見可能」なし。市民の声届かず決着。
しかし「多くの証拠が出て、知らなかつた誤謬が明らかになった。真実を語ろう」と一人がりて希望を持つことができた」と告訴人の一人は語った。
- (3/7 中) ⑧ 難問解決の道筋は。東京科学大学の今田高俊名誉教授に聞く。核ごみ処分場規制が必要、合意点へ「ロ民合議」設置を。
- (3/8 中) ⑨ 厚さ1ミリの太陽光発電「ぐにゃり」市場投入間近。ペロブスカイト。
- (3/8 中) ⑩ 浮上風力FEMZでも、日英で協力覚書。
- (3/8 中) ⑪ 特許の設置方針、県議会承認める。
- 島根「原発巡り」。

- ・(3/8日)高浜原発2号機、運転本格再開
- ・(3/8日)「2050年再エネ9割の未来」安田陽香山と溪谷社(1876月)
- ・(3/9中)原発世論調査、51年廃炉「ごきぬ60%」福島第一政府・東電「評価」40%。
「原発」今すぐゼロと将来的にゼロは68%で最多。
理由「福島第一のような事態を再び招く恐れ」が68%で最多。
- ・(3/11)東電の事故から14年。原発災害の忘却にあらがう。(社説)
- ・(3/11中)福島事故教訓、原発を考える集会。松江で住民ら。
- ・(3/11中)社説福島事故14年。「回歸」政策被災者軽視だ。
- ・(3/11中)避難計画修正62%必要。原発30キロ圏内町村、能登受け検討。道路寸断24%想定せず。能登の衝撃、にじむ危機感。
- ・(3/11日)移住呼ぶ学校再生の起点。帰還2年で通う子3倍、大熊町。帰還困難区域残る6町村。居住者震災前の1割。
- ・(3/11日)廃炉への道、残る880トン。初のデブリ取り出し、0.7%福島2万人のお辟難
- ・(3/12ア)除染土 福島県外の理解遠く。再生利用し盛土花壇で戻す。撤回
事故後に新基準、暴る不信

利用する資材で異なる、1キログラムあたりのセシウム濃度の基準や用途のイメージ

原発の解体で出る 金属やコンクリートの 再利用 東日本大震災前 からある仕組み	除染で出た土 (除染土)の 再生利用 東日本大震災後 の新たな仕組み
金属	コンクリート
100ベクレル以下 なら...	8000ベクレル以下 なら...
そのまま 様々な用途に使える	ふるい分けや、 異物除去などの処理 別の土など 遮蔽などした上で、道路 などの公共事業に利用

- ・(3/12日)東電旧経路沿線、障害無罪が確定。
- ・(3/12日)福島第一の廃炉費相「支障ない、51年まで工費見直す」。
- ・(3/13日)処理水の回収放出始まる。
- ・(3/13中)福島第一の原事故考える、益田ご集会。被害や安全性議論。
- ・(3/13中)福島第一の検査制度改正へ。
- ・(3/14中)除染工の行方積もる危機感。
- ・(3/14日)島根知事「原発対策テロ施設計画了解」
- ・(3/15中)延長認可取り消す、運転4年超原発

- 高浜、美浜の3基、名古屋地裁「審査不合法理」
- ・(3/15日)電力先物取引高最高。
- ・(3/15日)柏崎刈羽「今夏復旧するぞ」。
- エネ庁長官 再稼働の意義強調
- ・(3/16日)革新経水炉重臣大田元三、重工業
- ・(3/17中)この一冊、植口健二「原発山崩壊」復刊。
- ・(3/12九州スポーツ)東日本大震災から14年「この国は教訓を何も学んでいない」同じことが起きたらまた同じことになる...
- 被災地巡り続ける母子家庭が危機。
- ・(3/18中)再建根本計画見送り。東京電力ホールディング。柏崎刈羽不透明で。
- ・(3/18中)浜岡原子炉解体着手。中部電力高浜(原発2)口内初。
- ・(3/18日)東電国に19兆円支援要請。
- 福島事故費用17兆円規模。国への返済に暗雲。
- ・(3/19中)伊方原発差し止めの訴訟、松山地裁も請求棄却。
- ・(3/19日)高浜2号の上のようよう回収着手、福島第一も遠隔ロボで。

地域の新聞記事

- ・(2/20中)周南市議会に、中間貯蔵の計画中止を求める決議の採択を要望する陳情を企画総務委員に付託した。
- ・(2/20中)建設計画撤回申し入れ、県内5団体が上関町に。
- ・(2/23中)福島県から避難した「山口県避難」移住者の会代表 阿武町福田下浅野啓三さん「原発事故、思いを吐く」。
- ・(2/27)上関町が国交付金1億4000万円申請へ25年度中間貯蔵施設調査
- ・(3/1中)中間貯蔵反対決議案を提出、田布施町議。
- ・(3/3中)柳井市長選、市政継続訴え、中原さん当選
- ・(3/5中)中間貯蔵施設必要を説明を、田布施町議、上関計画で決議案提出。
- ・(3/11中)持ち込み拒否条例検討せず、中間貯蔵施設、平生町長が答弁。
- ・(3/11ア中)核施設計画はストップを、東日本震災14年上関ご集会